

SAIFのキーボードを改善してみましよう計画。

What's?

このキーボードの改造は、キートップ面とラバーカップの間に精密ネジを装着し、必要以上に確保されているストロークを制限し、確実なキータッチが得られるように改善を行うものです。

必要なもの

- ・M1.6×2.0 精密ネジ約60本
- ・精密ネジ用+ドライバー
- ・キーボードを外すための+ドライバーか爪楊枝
- ・根気や根性や、途中でめげない強い意志
- ・慎重さと、それなりの腕前
- ・失敗してもあきらめたり、なんとか対処できる責任感

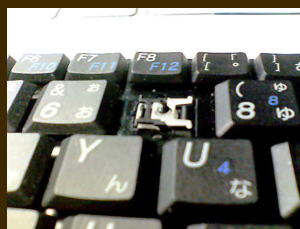
重要なご注意

この改造は失敗するとキーボードが使用できなくなる恐れがあります。加工に自信がない方、キートップを紛失しそうな方、不器用な方、この書類を鵜呑みにして軽卒に作業をされる方は危険ですので考え直しか作業を中止した方がいいです。

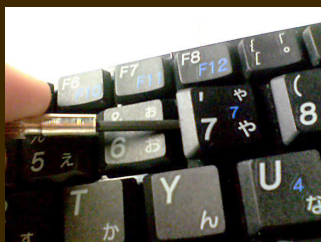
また、murackyは、この作業内容についていっさいのトラブルを保証せず、発生した損害に責任を持ちません。素材と工作内容についてのノウハウを提供するだけとします。各自の責任と判断で改造作業を行ってください。



ネジを用意します。M1.6×2.0です。いちばん上段のFnキー列はこのネジ径ではないので使用できませんが、頻度が低いキーなのでそのままでもいいでしょう。



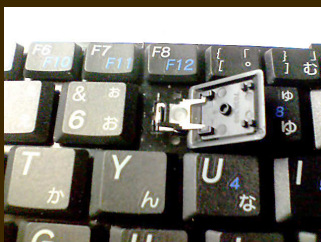
ネジはこの位置に来てラバーカップをより深く押し込むことになります。ネジなので、好みで長さをかえることができます。ラバーカップ下側にプラ板は使用しなくても良さそうです。



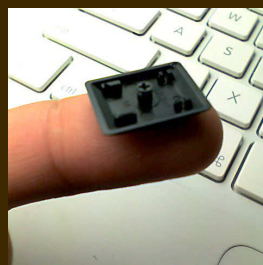
キートップを外します。精密マイナスドライバーや爪楊枝を左側から入ると黒い方のパンタのピンが外れます。ピンを折らないように慎重に外します。キートップを紛失しないために作業は一つずつ行った方がいいです。



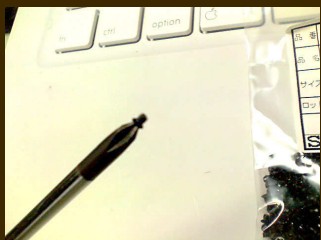
キートップ裏面の真ん中のポッチに慎重にネジを締め込んでいきます。ネジを切りながら締めていく感じなので、慎重にやらないとプラが割れる場合がありますので注意して作業しましょう。



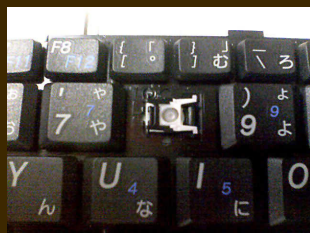
これが黒い方のパンタのキーが外れた状態です。白い方のパンタのピンは、ずらして外します。最下段のキーと、一部の縦長のキーは、パンタが縦になっているので下から外す方がいいです。



キートップ裏面にネジを装着した状態です。一般キーは0.5mmほど浮かせるようにネジを締めるといい感じになるでしょう。SpaceキーやEnterキーは、いっぱいまで締め込んだ方がいいかもしれません。好みで調整してみてください。



これが使用するネジです。小さいのでなくさないように注意しましょう。あまり使用しなさそうなキーへの装着を節約すると、55個ほどです。通常で60個です。



こんどは逆の手順でキートップを装着していきます。右側の白いパンタのピンにキー裏を引っ掛けて左側に押し込むとパチンと音がして元に戻ります。イビツに浮いている時はピンがきちんとはまっていない状態です。なお、この作業を行うとキートップが従来よりほんの少し浮き上がりますので液晶面を閉じて強い力をかけない方がいいかもしれません。



こちらが外したキートップ裏側です。中心部にラバーカップを押すためのポッチがあります。この部分にネジを締め込んでストロークを制限し、キータッチを向上させる訳です。

キーボードの不満がなくなったSAIFで、快適で最強のモバイルライフをお過ごし頂ければ幸いです。